



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・国内外の主要生産拠点でISO14001を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15					
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・自社HPのサステナビリティサイトにおいて、環境報告ダイジェスト及び冊子版環境報告書を公開している。												12.6								
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・2022年4月より国内主要製造拠点において使用電力の100%を再生可能エネルギーに切り替えている。							7.2							13						
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・工場で鋳物砂再生装置による廃砂の再利用を実施。新砂の投入量を抑え資源の有効活用に努めている。												12.2	13	14	15					
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・キッツグループ贈収賄防止グローバルポリシーを制定・公開している。 ・グループ共通の「コンプライアンス行動規範」において、贈収賄・腐敗行為を禁止している。																		16	16.5	
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンスガイドブックを発行し、社内ポータルサイトにて公開、周知している。 ・計画的にコンプライアンス教育を実施している。																			16	
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・コンプライアンスガイドブックを発行し、社内ポータルサイトにて公開、周知している。 ・計画的にコンプライアンス教育を実施している。								8.2	8.3	9										
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・キッツグループ情報セキュリティ・個人情報保護ポリシーを定め、執行役員を委員長とする情報セキュリティ・個人情報保護委員会を設置している。 ・全ての役員及び従業員に対して教育・訓練を継続的に実施している。																			16	
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物開示規制に則り、対応をしている。																			16	
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・サプライヤーガイドラインを策定、公表し、当社の考え方や姿勢をお取引様にご理解いただくように努めている。 ・2022年度よりサプライチェーンデューデリジェンスを実施している。					5				8		10		12	13	14	15	16	17		
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・日本企業で初めてISO9001を取得した。現在では国内外の製造拠点で様々な認証を取得し、製品の安全性を確保と品質の裏付けとなっている。			3.9											12.4						
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・キッツグループ共通の品質理念を策定、公開している。 ・創業時からの一貫生産体制による高品質を実現している。 ・世界各国において均一なサービスを提供するため、グローバルなサポート体制を構築、現地対応・解決を基本としている。											9									
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・環境開発方針及び環境負荷低減ガイドラインに従い、環境に配慮した製品を製造している。 ・一般社団法人日本バルブ工業会の「バルブ製品アセスメントガイドライン」に従い、環境配慮バルブの登録を進めている。						6							12	13	14	15				
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・中期経営計画で成長市場に挙げる水素分野(脱炭素に貢献)や機能性化学(医療・医薬分野に貢献)、水処理分野(安心安全は水の供給に貢献)に参入し、SDGsに掲げられている社会的課題に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・土壌・地下水汚染については、浄化を行い地下水水質のモニタリングによる監視を継続している。				4						9		11	12		14	15		17		
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・社会貢献活動基本方針、行動指針、活動重点分野、推進体制を定め、2024年度までの中期活動計画や具体的目標値を定め、公開している。				4									11			14	15		17	
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・現時点では具体的な取組みはなし										8	9		11	12	13					
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・2022年2月に企業理念(キッツ宣言)を改訂、HPや社内ポータルサイトにて公開する他、社長自らが企業理念や経営計画を社員に説明し社員と対話をするフォーラム(KITZ Group Engagement Forum)を開催している。										8	9								17	
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・キッツグループでは各社の社長を委員長とする「C&C(クライシス&コンプライアンス)委員会」を設置している。 ・各委員会では、コンプライアンス推進に関する事項を審議、方針の策定、具体的施策の実施を行っている。 ・内部通報制度(コンプライアンス・ヘルプライン)を設置、社員が安心して利用できる体制を構築している。																			16	
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・経営企画本部に環境安全部及びサステナビリティ推進室を設置し、経営に近い組織でESG活動を推進している。																			16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・株主、投資家、お客様・ビジネスパートナー、社員や地域などと、様々な手段で対話を実施している。建設的な対話によって得られた意見や要望は経営陣にフィードバックし、経営効率の改善や透明性の向上に反映させている。																			16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・事業活動に係る想定リスク(全128項目)について「リスクの発生頻度」「経営に与える影響度」の二軸でリスクの重要性を定期的に判定している。経営会議にて「主要リスク」「重要リスク」を特定、必要な対策を立案、実施している。																			16	
40	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・1998年に長坂工場ですべて初めてISO14001認証を取得、以来グループ挙げて環境経営を推進している。 ・社会貢献活動に積極的に取り組み地域のプロスポーツチームの支援や国際貢献などに力を入れている。																			16	
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・BCM(事業継続マネジメント)方針、BCP(事業継続計画)を策定し、社内公開している。											9		11		13	13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・2022年2月、2030年に向けた長期経営ビジョン「Beyond New Heights2030「流れ」を変える」を公表した。サステナビリティ経営を経営戦略の中核に据え、持続可能な企業と社会の実現に向け取り組みをすすめている。										8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)